

全日制商業科カリキュラムモデル例 (30単位)



商業科

本モデル案は、商業科目と普通科目の関連性を念頭に作成いたしました。

商業科目の具体的なカリキュラムモデル案については、弊社Web「商業教育ナビ」をご確認ください。

◀ 詳しくはこちらへ

教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年	備 考
			共通	共通	共通	
国 語	現代の国語	2	2			
	言語文化	2	2			
	論理国語	4		2	2	
	文学国語	4				
	国語表現	4			★4	
	古典探求	4			★4	
地 歴	地理総合	2		2		※公共・地理総合をシャッフルしても構いません。
	歴史総合	2			2	
公 民	公共	2	2			
	倫理	2				
	政治・経済	2		☆2	●2	
数 学	数学Ⅰ	3	3			
	数学Ⅱ	4			★4	
	数学Ⅲ	3				
	数学A	2		☆2	●2	
	数学B	2				
	数学C	2				
理 科	科学と人間生活	2	2			
	物理基礎	2				
	化学基礎	2				
	生物基礎	2		2		
	地学基礎	2				
保 健 育	体育	7~8	2	2	3	
	保健	2	1	1		
芸 術	音楽Ⅰ	2			■2	※3年は■4科目より1科目履修
	美術Ⅰ	2			■2	
	工芸Ⅰ	2			■2	
	書道Ⅰ	2			■2	
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	4			
	英語コミュニケーションⅡ	4		2	2	
	英語コミュニケーションⅢ	4			★4	
	論理・表現Ⅰ	2		2		
	論理・表現Ⅱ	2			●2	
	論理・表現Ⅲ	2				
家 庭	家庭基礎	2		2		
	家庭総合	4				
	フードデザイン	2			●2	
総合的な探究の時間		3~6				※総合的な探究の時間は、課題研究で代替することとする。
選 択 科	選択Ⅰ			2		※選択科目Ⅰは☆（普通科目・商業科目6科目）より1科目履修する。
	選択Ⅱ				2	※選択科目Ⅱ・Ⅲは、●★より合計6単位分を履修することとする。
	選択Ⅲ				4	（4単位科目から1科目ではなく2単位より2科目でも可とする）
普通科 必修科目 小計			18	15~17	17	

商業	ビジネス基礎	2～4	2			
	簿記	2～4	3(4)			
	情報処理	2～4	3			
	ビジネス・コミュニケーション	2～4	3(2)			
	ビジネス・マネジメント	2～4		3		
	マーケティング	2～4		3		※マーケティング～プログラミングまでの科目を1年次に履修する場合は、旧課程の教科書を利用することになります。(詳しくは3ページ目へ)
	商品開発と流通	2～4		☆2	▲2	
	グローバル経済	2～4		☆2	▲2	
	財務会計Ⅰ	2～4		3		
	原価計算	2～4		☆2	▲2	
	ソフトウェア活用	2～4		3		
	プログラミング	2～4		☆2	▲2	
	観光ビジネス	2～4			▲2	※観光ビジネス～ネットワーク管理までの科目を1・2年次に履修する場合は、旧課程の教科書を利用することになります。(詳しくは3ページ目へ)
	ビジネス法規	2～4			▲2	
	財務会計Ⅱ	2～4			▲2	
	管理会計	2～4			▲2	
	ネットワーク活用	2～4			▲2	
ネットワーク管理	2～4			▲2		
総合実践	2～4			3		
課題研究	2～4			3		
選択商業	商業科目 選択Ⅳ	2～4			2	※選択科目Ⅳ～Ⅵは、▲より3科目履修することとする。 ※2年次の選択科目Ⅰを商業科目の☆より選択した場合は、選択科目Ⅳ～Ⅵで2年次選択科目と同一の科目を選択することはできない。
	商業科目 選択Ⅴ	2～4			2	
	商業科目 選択Ⅵ	2～4			2	
商業科 履修科目 小計			11	12～14	12	
特別活動 (HR)		3	1	1	1	
合計単位数			30	30	30	

※学校における教育課程編成の参考資料としてお使いください

※科目覧：赤→必修，青→選択必修

※記号の詳細は備考を参照してください。

※各教科の解説は次のページをご覧ください。

解説

◆地歴・公民科

科目変更が多く、必修は歴史総合・地理総合・公共の3科目となります。

「商業科目」への接続をスムーズにするため、1年次の必修科目は「公共」もしくは「地理総合」を想定しております。

公共の経済分野や国際分野、地理総合の国際分野や産業・民族・食糧分野の学習は、ビジネス基礎・ビジネスコミュニケーション、マーケティング、グローバル経済、観光ビジネスなどの商業科目と親和性が高いです。

教科間連携の連動性を高めるためにも、公共もしくは地理総合を1年次に履修する案を用意しました。したがって、2年次の履修科目も地理総合もしくは公共を想定し、3年次は歴史総合としております。（1・2年次に公共・地理総合を履修する案としました。）

※公共は2年次までの履修が義務づけられております。

◆数学科

数学Cの新設、「ベクトル」が数Cへ移動、数学B「統計的な推測」が大きな変更点です。（※数学Cも2年次設置が可能です。）

数学I「データの分析」は商業科の「情報処理」と教科間連携を図ることが可能です。

◆理科

科学と人間生活を2年次、生物基礎を3年次に設置することも可能です。

◆家庭科

成人年齢引き下げ（18歳）が「消費生活分野」と関連するため、家庭基礎・家庭総合は2年次までの履修が好ましいかと思えます。

家庭基礎でカリキュラムを組んでおりますが、家庭総合の分割履修や3単位履修も可能です。

※家庭科の専門科目は科目数が多いため、商業科で履修の多い「フードデザイン」のみの掲載としております。

◆商業科

マーケティング・商品開発と流通・グローバル経済・財務会計Ⅰ・原価計算・ソフトウェア活用・プログラミングは、2年次に新指導要領の教科書が発行されます。したがって、1年次に履修する場合は新指導要領の検定教科書が未発行なので、旧課程教科書などを使用することになります。

観光ビジネス・ビジネス法規・財務会計Ⅱ・管理会計・ネットワーク活用・ネットワーク管理は、3年次に新指導要領の教科書が発行されます。したがって、1・2年次に履修する場合は新指導要領の検定教科書が未発行なので、旧課程教科書などを使用することになります。

総合的探究の時間は課題研究で代替可能ですが、合計で3単位以上を履修してください。